

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	トータスミドル上三川		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 15日		～ 2026年 2月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46名	(回答者数) 23名
○従業員評価実施期間	2026年 2月 15日		～ 2026年 2月 23日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置や支援体制が安定している点	利用定員やこどもの状態に応じて職員の配置を工夫し、男女バランスも意識している	研修や勉強会を定期的実施し、より多様な状況に対応できる柔軟性を高める
2	生活環境や設備がこどもに配慮されている点	バリアフリー設計や視覚優位の利用者への配慮、清掃の徹底、個別空間の工夫を行っている	教室内の動線や掲示物の配置について定期的に見直し、より快適な学習・活動環境を維持する
3	支援計画・プログラムの作成・実施が組織的である点	職員間で計画を共有し、個別・集団活動を組み合わせた支援、記録・振り返りの徹底を行っている	外部評価や保護者・関係機関の意見をさらに取り入れ、PDCAの精度を高める

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部評価や地域連携の仕組みが十分でない点	第三者評価の実施や定期的な地域機関との交流がまだ整備されていない	外部評価の導入や地域連携の定期的な仕組み作りを検討・実施する
2	地域や保護者参加型の活動が限定的	地域行事や父母会・きょうだい交流などの取り組みがまだ少ない	地域や保護者参加型の活動を計画的に実施し、交流の機会を増やす
3	教室内の物理的環境に改善の余地がある	教室のスペースや配置が一部こどもにとって窮屈に感じられる場面がある	パーテーションや机の配置を工夫し、動線や視覚的な余裕を確保する